

科目	道徳教育研究	担当	高須 博	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

現在の子供たちは、自制心や規範意識の希薄化、生活習慣確立が不十分であることなど、道徳教育に関わる課題は少なくない。そこで、道徳教育の役割としての、豊かな人格の形成や存在感や自己実現の喜びを味わうことのできる指導が求められている。そのため、本講義では、小・中・高等学校の各段階において一環として取り組む課題や各段階における重点課題、及び系統性を明確にして道徳教育法の基本を押さえることを目標とする。

授業にあたっては、現習指導要領の趣旨に沿った内容構成の考え方にに基づき、四つの視点ごとに学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業を通して、授業分析と相互評価を行う。こうした一連の実践を通して、授業教育の内容の取扱いや内容項目ごとの指導の観点を明らかにし、より良い授業づくりとその評価ができるようにする。

【履修注意】

道徳の授業づくり及び指導法の研究の講義であるので、教職志望の学生は必ず受講すること。全出席すること。1/3以上の欠席は単位を認めない。(遅刻2回は、欠席1回とする) 毎時間、レポートを課すので、期限内に提出できるようにする。

【評価方法】

定期試験、及びレポート・指導案や模擬授業の内容から総合的に評価する。

【試験について】

筆記試験(中間)を実施する。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験が40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は、1単位45分が文部科学省の指針である。2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。その内容を講義の都度、指示するので、次の講義時に提出する。

【教科書】

文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』(日本文教出版)→現在は文科省の電子媒体のみ

【参考書】

愛知県小中学校長会、『道徳 明るい人生』1年・2年・3年(愛知県教育振興会)

【その他の注意事項】

教職課程の必修科目です。公民・保健体育科の免許取得希望者は、必ず履修してください。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	これまで受けてきた道徳教育の振り返りと道徳教育の総説
2	道徳教育の要点と変遷	道徳教育改訂の趣旨・要点、昭和33年からの道徳教育の歩み
3	道徳の目標	道徳教育の目標、道徳の時間の目標、道徳教育推進上の配慮事項
4	道徳の内容1	内容のとらえ方、内容構成の考え方、内容の取扱い
5	道徳の内容2	内容項目の指導の観点、四つの視点
6	道徳の指導計画	道徳教育の全体計画、年間指導計画、学級における指導計画
7	道徳の時間の指導1	指導の基本方針、学習指導案の内容、学習指導案作成の主な手順
8	道徳の時間の指導2	学習指導過程の工夫、多様な指導過程の構想
9	教育活動全体を通じて行う指導	各教科や統合的な時間、特別活動における道徳の指導・指導案考案と作成
10	家庭や地域社会との連携	家庭や地域社会での道徳教育とその役割、連携による道徳教育・指導案考案と作成
11	道徳教育の評価	道徳教育における評価の意義、道徳性の理解と評価・指導案考案と作成
12	まとめ、期末試験	11コマの総まとめ、試験の実施
13	模擬授業と相互評価1	指導案にもとづく模擬授業(視点Aの実践)、相互評価
14	模擬授業と相互評価2	指導案にもとづく模擬授業(視点Bの実践)、相互評価
15	模擬授業と相互評価3	指導案にもとづく模擬授業(視点Cの実践)、相互評価
16	模擬授業と相互評価4	指導案にもとづく模擬授業(視点Dの実践)、相互評価、まとめ